

【2021.9.2 発信 VOL52】

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.52 は、以下の内容でお届けします。

- 更なる国土強靱化に向けて
 - 令和4年度予算概算要求について
 - 令和4年度税制改正要望事項について
 - 令和2年度食料自給率・食料自給力指標について
 - リーフレット「参議院議員進藤金日子」について
 - 新型コロナウイルスに関する情報について
 - 活動状況（2021.8.1～2021.8.31）
-

■ 更なる国土強靱化に向けて

参議院議員の進藤金日子です。

- ・9月に入り季節的には初秋ですが、まだまだ厳しい暑さが続くと思われま
- ・各地では、これから収穫を迎えようとした矢先に記録的な集中豪雨・水田湛水などにより被害が相次いでおります、被災された皆様方に衷心よりお見舞い申し上げます。
- ・近年の相次ぐ豪雨により被災した施設を目のあたりにし、国土強靱化のための農業水利施設、ため池、治山施設、漁港施設などの対策の必要性を再認識し、皆様からのご意見ご要望を踏まえ、迅速な災害復旧とともに防災・減災対策の早期実施に向けて全力で対応して参ります。
- ・自民党国土強靱化推進本部会議が8月25日開催され（前身の「国土強靱化総合調査会」（H23.10 発足）以来、通算141回目の会議）、「ウィズコロナ・アフターコロナ時代の国土強靱化の推進に関する今後の基本方針」が取りまとめられました。「激甚化・頻発化する「自然災害」への対応」、「いかなる感染症にも対応しうる『公衆衛生』の強靱化」を柱としたもので、「国土強靱化」対策を更に強力に進めていくこととしており、政府に申し入れされました。
- ・引き続きコロナ対策を徹底する必要があります。可能な限りワクチン接種を行うことを基本として、接種の有無にかかわらず、これまで同様、3つの密（密閉・密集・密接）の回避、マスクの着用の励行など粘り強く取り組んでいくこ

とが大切です。

■ 令和4年度予算概算要求について

- ・令和4年度予算概算要求は、与党自民党の議論を踏まえ各省庁から財務省に対し8月末に提出されました。
- ・農林水産関係予算は、攻めの農林水産業を展開し成長産業とするとともに、美しく伝統ある農山漁村を次世代に継承するため、新型コロナウイルス感染症による社会構造の変化にも対応しつつ、「農林水産業・地域の活力創造プラン」等に基づく改革を着実に実行するための予算要求となっております。
- ・要求内容は、これまで皆様からいただいたご意見やご要望を踏まえた内容が盛り込まれております。
- ・概算要求の総額は、2兆6,842億円(対前年度比116.4%)となっております。農林水産関係予算の概算要求の重点事項等についてご報告します。

1. 令和4年度農林関係予算概算要求の重点事項について

- (1) 生産基盤の強化と経営所得安定対策の着実な実施
- (2) 5兆円目標の実現に向けた農林水産物・食品の輸出力強化、食品産業の強化
- (3) 環境負荷軽減に資する「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた政策の推進
- (4) スマート農業、eMAFF等によるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- (5) 食の安全と消費者の信頼確保
- (6) 農地の最大限の利用と人の確保・育成、農業農村整備
- (7) 農山漁村の活性化
- (8) カーボンニュートラル実現に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長
- (9) 水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化

※「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に係る経費、盛土による災害の防止に向けた総点検を踏まえた対応に係る経費、「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費については、予算編成過程で検討することになっております。

※要求内容の詳細は以下のアドレスから参照願います(農水省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/210831.html>

2. 令和4年度農業農村整備事業関係概算予算について

- ・令和4年度農業農村整備事業関係予算は、競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備を計画的に推進するため、農業農村整備事業（公共）、農業農村整備関連事業（非公共）及び農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）を合わせて、5,263億円（対前年度比118.4%）の要求となっております。
- ・令和4年度要求のポイントとしては、令和3年度当初4,445億円に対し、令和4年度当初予算として5,263億円で最大限の額を要求しております。今後は、当初予算の確保を基本として、補正予算等の編成で見込まれる国土強靱化、TPP対策も確保し、全体として農業農村整備事業関係予算の必要額が安定的に措置できるように取り組んで参ります。

※要求内容の詳細は以下のアドレスから参照願います。

<https://drive.google.com/file/d/19ay-7nw6hCPVHLaRFhkB2xEsfGa81N0R/view?usp=sharing>

■ 令和4年度税制改正要望の主要事項について

1. 新規・拡充措置に関する要望

- (1) 農林水産物・食品の輸出拡大に向けた税制上の所要の措置（所得税・法人税）
- (2) 食料・農林水産業のグリーン化に向けた税制上の所要の措置（所得税・法人税）
- (3) 人・農地など関連施策の見直しに伴う税制上の所要の措置（複数税目）

2. 既存措置に関する要望

山林所得に係る森林計画特別控除の2年延長（所得税）

を柱として、所要の改正要望となっております。

※要求内容の詳細は以下のアドレスから参照願います(農水省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/tyosei/210831_13.html

■ 令和2年度食料自給率について

- ・農林水産省は、8月25日に令和2年度食料自給率を公表しました。カロリーベースでは前年度より1ポイント低い37%、生産額ベースでは前年度より1ポイント高い67%になりました。
- ・私自身、この結果に大きなショックとともに危機を感じています。私が提唱している食料安全保障政策の推進を更に強力に要請して参ります。

※詳細は以下のアドレスから参照願います(農水省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/210825.html>

※進藤が提唱している食料安全保障政策（R3.3.15参議院予算委員会での質疑）

https://drive.google.com/file/d/1L_SCyMd38Vrnnx-Dbgjym-JPjL5j8RJ5/view?usp=sharing

- リーフレット「参議院議員進藤金日子」を発行しましたので、ご覧いただき、是非ご活用いただきたいと思います。ご希望される方は国会事務所まで連絡ください。

※リーフレットは、以下のアドレスから参照願います。

<https://drive.google.com/file/d/1POINZjkARwils4bh1DX402r-S73tG28K/view?usp=sharing>

- 新型コロナウイルス感染症に関する情報について

※新型コロナウイルスに関する情報については、以下のアドレスから参照願います。

なお、最新の情報を入手するよう留意願います。

(首相官邸ホームページ)

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

(内閣官房ホームページ)

<https://corona.go.jp/>

(厚生労働省ホームページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

(国立感染症研究所ホームページ)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/>

(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

(自由民主党ホームページ)

<https://www.jimin.jp/covid19/>

- コロナ禍の中で抗原検査等を随時行い各種講演を慎重に実施

- ・ 8月4日、島根県吉賀町「西いわみ集落営農・法人ネットワーク総会」で、特別講演「農業農村のこれから」と題して、食料安全保障問題、生産者米価の動向、人・農地プランの方向性、農林水産物輸出の方向性などについて講演、意見交換を行いました。
- ・ 8月6日、奈良県奈良市で「奈良県土地改良研修会」を開催し、「農業農村を巡る状況」と題し、これまでの政治活動の実績を振り返りながら農政の現状と課題に対応した土地改良の役割について講演、意見交換を行いました。

=====